

クスノキ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
 〒七三〇〇八五三
 広島市中区堺町一丁目二九三〇三
 TEL (〇八二) 二三三三〇五〇
 FAX (〇八二) 二三三三〇五二
 e-mail
 ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp

パワハラがまるであつてない、自覚がない社長の姿

門田委員長が広島県労連大会でも支援を訴え

建交労からは6人が参加しました

九月一六日(土)広島県労連第三五回定期大会が広島ロードビルで開催されました。(オンライン併用)大会には六六人が参加、建交労からは代議員五人(うち一人はオンライン参加)と福山地区労会議の代議員一名の合計六人が参加しました。

午後からの討論のトップで、建交労興国産業支部の門田久弘委員長が登壇。門田委員長は「まずこれを聞いてください」と切り出し、社長のパワハラの声の声をマイク越しに聞いてもらいました

自殺を考えた人、会社を辞めてと言われた人も

数年で一〇人くらいが退社

たこと、そのため数年で一〇人位が辞めたことなど述べました。以前にも相談に乗ってもらっていた福山地区労の中藤久雄議長(建交労前委員長)に相談し、学習した結果、建交労の組合を結成することに至り、パワハラ根絶、要求実現のため団体交渉を行っていることなど報告するとともに、社長にパワハラをやめさせる取り組みについての支援を訴えました。

パワハラのない社長

興国産業の社長は交渉の際にも組合からの具体例を挙げての追及に「それは(聞いた社員の)うけとめ方の問題でしょう」



県労連大会で来賓あいさつする総がかり行動実行委員会の石口俊一弁護士(16日・ロードビル)

県本部・地区労会議ぐるみのたたかいに

門田委員長は、先月は建交労の全国大会でも訴えましたが、今後も、県本部、地区労会議(県労連)ぐるみのたたかいとして発展させるためにも、広島県労連・地域労連(地区労会議)に結集して奮闘します。

なお、県労連役員選挙では、県本部の武田喜成書記次長が幹事に再選されました。

来賓では、「戦争させない! 9条壊すなヒロシマ総がかり行動実行委員会」の石口俊一弁護士が岸田政権の「大軍拡・大増税」に反対する闘いについて連帯を表明しました。

なお、広島県労連の門田隼人事務局長が退任し、新たな事務局長に広島合同労組の植永光則氏が選出されました。

(写真の説明、上から討論のトップで発言する門田久弘委員長と「大会宣言」を読む武田喜成幹事(建交労書記次長・写真下)

徒然草

岸田政権が推進するいわゆるデジタル化は、国民にとって使い勝手が良く安心で、より良いサービスが受けられるならば、それはよいことであると思う。しかし、そうとはいかないようである。

◆来年の秋に「保険証を廃止してマイナンバーカードにひもづけする」という「マイナ保険証」をめぐるトラブルは依然として「視界不良」のままである。先日も医療関係者の話をきく機会があった。それによると、政府がデジタル化を進めるため「マイナ保険証」の情報を読み取る「オンライン資格確認システム」の導入が医療機関に原則義務化されたが、それを設置するためにはネット回線を引き込むことで、自己負担部分も出てくるなど、費用の負担が大きい。さらには、高齢の開業医はマイナ保険証の義務化をきっかけに引退したり、閉院する例もあるという。

◆「コロナ対策等で無理強いをしていく時期にこのような義務を課すのは現場のモチベーションを大幅に削いでいる」ことも大きく影響しているとのこと。

◆「これまでは七〇代で引退する医師が多かったが、今後は六〇代後半で引退する医師が増えてくることも考えられる」とのこと。広島県は無医地区が全国でも二番目に多い県でもあり、拙速なデジタル化は地域医療への影響は大きい。保険証の強引な廃止方針はさらにトラブルを生むと思う(M)



消費税廃止広島地区各界連の宣伝行動に参加したみなさん(9月22日金座街にて)写真は赤旗・宮中里佳氏より提供

小規模事業者を苦境に追いやり、経済を衰退させる

インボイス制度は中止を 消費税は5%に引き下げを 広島各界連絡会が昼宣伝行動

消費税廃止広島地区各界連絡会は、九月二二日、広島市中区の金座街で、消費税の5%への引き下げと、一〇月から導入が始まるうとしている「インボイス」(的確請求書)制度の廃止を求める請願署名を呼びかけました。一九人が参加、建交労からも武田喜成書記次長が参加、「インボイス制度導入が近づいたからか、『インボイスって何ですか』と質問する人や署名する人も多くなつたように感じた」と話していました。

五十二万超える

オンライン署名に

も自民党は聞く耳

もたず!

次は岸田首相が

インボイス中止を

決断する時だ!

九月二五日の夕方には、首相官邸前で、「インボイス」中止を求める千人を超える大規模な集会が開催されました。オンライン署名を呼びかけてきた「インボイス制度を考えるフリーランスの会」主催で、これまで五十二万を超える署名を集めたにもかかわらず自民党は「会」との交渉も訪問も断っていました。

「会」のメンバーは「我々は、要望通り署名を集めた。次は政府が僕らの言うことを聞く番だ。岸田首相がインボイス中止を決断する番だ」と強調しました。

すでに一〇五の国・地域が減税

実施、日本も直ちに実施すべき!

カナダも消費税減税に踏み出したので、これにより一〇五の国・地域で減税に踏み切ったこととなります。

日本の自民党や政権与党は、消費税をさらに増税し、国民をいじめ、零細業者つぶしを推し進め、経済をさらに衰退させようとしています。

インボイス中止と消費税の5%への減税を求める世論をさらに広げてゆくことが重要です。

宅配のバイク労働者がピンチに!

宅配大手のヤマト運輸は、顧客企業のカタログやチラシを自前のバイクで配達する業務を委託してきた個人事業主(バイク労働者)との契約を来年一月末で一斉に打ち切る方針を明らかにしました。これにより約3万人の労働者が事実上解雇されることになります。一方的な解雇は許されません。頑張れ!

建交労広島県本部 第二五回定期大会

〇とき 一〇月七日(土)

午後2時より5時まで

〇ところ 広島市中区袋町「ひと・まち交流プラザ」北館5階研修室C

「紙屋町東」電停から徒歩約七分

●今年の大会は土曜日に設定しましたので、参加者は、間違いないようお願いいたします。

今後の組合行動日程など

- 九・二九 「いの健」広島センター総会
- 九・三〇 ヒロシマ労連定期大会
- 一〇・二 呉市への要請行動(ダンブ支部生活保護裁判(広島地裁))
- 一〇・三 運行管理者講習会
- 一〇・七 広島県本部第25回定期大会
- 一〇・一一 年末要求提出日
- 一〇・一二 国土交通省レクチャー(一三日)
- 一〇・一四 事業団・介護ヘルパー活動全国交流会(一五日程江市内)
- 一〇・一九 中国市長会要請(岡山市)
- 一〇・二一 興産産業支部団体交渉(午後二時)ヒロシマ革新懇総会
- 一〇・二二 ボーリング交流会(県本部主催)
- 一〇・二六 建交労中央執行委員会(二七日)
- 一一・三 国民大運動県民集会(平和公園噴水前)デモ行進
- 総がかり行動集会(原爆ドーム前)
- ゼネコン本社要請行動
- 建交労中央行動

“老若男女が集う”

第2回ボーリング交流会

〇とき 10月22日(日)午前10時

〇ところ 呉マリンボール

呉市宝町4-21

●参加費 一人2,000円

※申し込みは10月12日(木)までに。

県本部へ 082-235-3050

主催 建交労広島県本部